

IUHW

International University of Health and Welfare

vol. **64**
January
2006



二〇〇六年四月、大学院に 「助産学分野」開設

トピックス

中国リハビリテーション研究センター一行来学ほか

キャンパスレポート

第二〇回学長杯スピーチコンテスト開催ほか

大川キャンパスレポート 第三回

施設インフォメーション **病院長ご挨拶**

国際医療福祉大学附属三田病院 病院長 田中靖彦

国際医療福祉大学附属熱海病院 病院長 神崎 仁

臨床医学研究センター・国際医療福祉病院 病院長 佐藤郁夫

・山王病院 病院長 井上正人

・高木病院 病院長 山本匡介

国際医療福祉大学の

二〇〇六年を語る

学校法人国際医療福祉大学 理事長 **高木邦格**

国際医療福祉大学 学長 **谷 修一**

国際医療福祉大学 大学院院長 **開原成允**

国際医療福祉大学の二〇〇六年を語る

学校法人国際医療福祉大学

理事長 高木邦格



開学十周年、節目の年を終えて

二〇〇五年は非常に忙しい年でございました。三月に、JT（日本たばこ産業）からご指名を受け、東京の名門病院である東京聖病院を国際医療福祉大学附属三田病院として継承いたしました。同時に本学が開学十周年を迎え、皆様への感謝を込めて東京でパーティーを開きました。四月には、本校に薬学部、福岡県にリハビリテーション学部を開設し、六月には、国立熱海病院の継承後に新築していた附属熱海病院が竣工いたしました。温泉があり、眺めの素晴らしい、伊豆半島の基幹病院が新しくなり、患者様に大変ご好評いただいております。十周年のイベントの締めくくりとして、秋には常陸宮正仁親王妃両殿下にご来賓賜り、東京フィルハーモニー交響楽団による記念コンサートを大田原で開催いたしました。教職員及び関係の皆様方のご協力のもと、すべての行事を無事に終えることができました。このことを心より感謝申し上げます。

2006年を語る。 学生を中心にした 学生のための大学

国際医療福祉大学 学長 谷修一



お陰様で本学も昨年創立十周年を迎え、一連の記念行事を滞りなく終えることができました。多くの皆様からご寄附をいただき、体育館の拡張、武道場の新設、学生食堂の増設等、学生の福利厚生施設の充実が図られましたことに対して心から御礼を申し上げます。

昨年新設した薬学部は今年、新たに六年制としてスタートいたします。さらに、神奈川県小田原市に小田原保健医療学部を看護、理学療法、作業療法の三学科で開設いたします。小規模ながら、いわば駅前大学として新しい大学の姿を模索し、医療福祉専門職の教育を行っていくつもりでございます。

大学院には、助産学分野の修士課程を新設いたします。より高度な技術と知識を身につけた助産師が必要だという社会の要請にこたえるため、大学院教育の中にこの分野に特化したカリキュラムを設けることにいたしました。

附属三田病院は順調に稼働し、附属熱海病院も昨年六月に新病院が竣工いたしました。これにより、本学の特長の一つであり

特徴ある運営で、選ばれる医療機関に

現在の国の財政を考えますと、八〇〇兆円もの借金を負い、ある意味では国家が破綻しているという状況です。その煽りを受けて医療費と介護報酬もマイナス改定ということになりましたが、財政が健全ならば、本来、国が医療費をきちんと保障すべきものだと思います。しかし、現実問題として、財政が破綻しているため、厳しい国家的な政策を行使せざるを得ない状況に追い込まれています。私も、こうした逆境の中で工夫しながら経営していくことを迫られているわけです。全国におよそ九千の医療機関病院がございますが、これまでは護送船団方式の考え方が多かったが、患者様には医療機関でなければ生き残れない時代が到来したのではないかと感じております。

そのような中で、本グループの医療機関には、各々ミッションを与え、特徴をもたせてまいりたいと思っております。山王病院は日本の代表的なプライベート病院として、熱海病院は伊豆半島全域を担うような基幹病院として、それぞれの位置づけがございます。また九州の高邦会においても、柳川リハビリテーション病院は西日本有数のリハビリテーション専門病院。高木病院は地域の中核病院でございます。先日、NHKのBSデベイトという番組で、工夫している病院として附属三田病院が取り上げられました。三田病院は、優秀な専門医を多数集め、がん治療の拠点病院を目指しております。がんというものを正面から捉え、がん治療に対する私自身の

ます臨床実習教育をさらに充実させていきたいと考えております。

また、本学の目指しますチーム医療やチームケアの実習を、昨年からは始めました。国際医療福祉病院と介護老人保健施設マロニエ苑で試行し、今年には特別養護老人ホーム柘の実荘や国際医療福祉リハビリテーションセンター、熱海病院等にも拡大したいと考えております。その結果を多くの学生が共有できるように工夫をし、そのためにも施設や病院との関係性を密接にして、学生の臨床教育の充実に向けていきたいと考えています。

二〇〇六年は医療制度改革が実施に移され、医療や福祉の現場は大変厳しい状況になると予想されます。ただ、医療や福祉の制度は時代とともに常に変わっていくものです。どのような制度になろうとも、サービスを提供する人とそれを受ける人がいるということに変わりはありません。私達が目指す医療福祉専門職に求められる基本は変わりません。このような考え方で今後も教育にあたっていききたいと思っております。

国際医療福祉大学の卒業生はすでに四〇〇〇人を超え、全国の医療福祉の現場で活躍しております。大学が創られたときに掲げられました人間中心の、社会に開かれた大学、「共に生きる社会」を目指すといた建学の精神に立ち返り、創設当時の活気を失わずに、さらなる発展に向かうエネルギーを発揮できるようにしたいと思います。学生を中心にした学生のための大学であるということに肝を銘じ、教職員の皆様とともに教育の支援にあたってまいりますのでよろしくごお願い申し上げます。

夢を実現していくものでもありません。

各施設では、医師の拡充とともに医療機器の充実も図っております。熱海病院では、新病院の開設と同時に静岡県初の六四列のCTスキャンを導入し、この一月からはPET/CTも稼働いたしました。三田病院でも導入する予定ですが、医療設備についてはできるだけいいものを揃えてまいりたいと思っております。優秀な医師の確保、医療の質の充実、そして、患者様に対するサービスの強化を図ることで、一人でも多くの患者様に利用していただきたいと思います。

キーワードは「実習・実学」

昨年の暮れに、薬学部を六年制とする認可をいただきました。また、今年には助産師の教育を大学院教育に移行いたします。薬学部の六年制移行、学部で並行していた助産師教育の大学院への移行は、いずれも「実習・実学」の充実を図るものです。今までの薬学部教育は四年間で事実上、病院実習をほとんど行っておらず、延長された二年で病院実習を行うことになっております。

学生のためにも、また大学の将来を考え、まして、附属施設の充実を図り、教育の質を上げていくことが求められます。これからは病院も選ばれる時代ですが、大学はまさに全入時代を迎えます。大学の質を考えたときに、附属施設の充実が本学の大きな宝になるのではないかと感じております。大田原市からの要請で、全室個室の特別養護老人ホームをまもなく着工する予定でおります。また熱海市の要請で、附属病院

2006年を語る。 将来の国際医療福祉大学の 姿を見据える

国際医療福祉大学 大学院院長 開原成允



二〇〇六年は、国際医療福祉大学にとって大変大事な年になるような気がしています。大事であるという理由は、二〇〇六年にはこれまで発展し続けてきた国際医療福祉大学の将来の姿がおぼろげながら見えてくるのではないかと感じています。

二〇〇五年には、本学は十周年を祝いましたが、十年前に今の姿を想像した人は誰もいなかったと思います。それほど、この十年間に本学は大きく変化し、発展しました。しかし、規模的な発展はいつまでも続くものではないと思います。どのような組織にも適正な規模はありますが、発展期にはそれがなかなか見えません。今後更に発展した上での着地点のようなものが、二〇〇六年には見えてくると思っております。

着地点が見えてきたら、私はそれに合わせて改めて本学の理念や運営などを考えてみる必要があるように思います。発展期にはいろいろな問題はありましたが、それは発展の過程の中で吸収されて、大きな問題にはなりません。しかし、先送りされた問題が残っていることも確かです。

の敷地に老人保健施設を準備しているところでございます。

医療と福祉（特に在宅介護）、教育という医療福祉教育複合体として、地域に望まれるものについては可能な限り整備してまいる所存です。

都市型、小田原保健医療学部を開設

本年四月、神奈川県小田原市の隣地、元JR職員宿舎の敷地に小田原保健医療学部を開設いたします。まさに駅前のキャンパスで、看護・理学療法・作業療法の三学科で構成されます。すでに高校推薦入試を終え、予想以上に多数の受験生にお集まりいただきました。熱海病院と協力し、地域に貢献してまいります。

これまで大学の設置認可を受けるには校地面積の規制がありました。私も大田原と西那須野に十坪以上の敷地をもち、大田原市と協力して地域整備の観点で大学を運営してまいりましたが、規制緩和が行われ、新学部は狭い敷地で認可を受けることができました。今後十八歳人口が減る中、実験的に都市型キャンパスをつくりました。

乃木坂駅近隣の大学院東京キャンパスでは、乃木坂スクールを開講し、社会人教育を行ってまいりましたが、これを機会に学部レベルでの教育を考えたわけでございます。東京、神奈川の至便な場所に、教育環境を整備してまいりたいと思っております。同時に、内部の充実を引き続き図ってまいります。このことは言うまでもございません。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくごお願い申し上げます。

その中で、特に大学院では、教育の質の問題が重要です。教育は、大量生産できるものではなく、一人一人の人間を手作り育てていくような側面があります。大学院は、個性の強い学生の集団ですから、特にその点が重要です。大学は、既に競争の時代に入っていますが、これから、その競争は更に激化することでしょう。その中で良い学生を多く集め、生き残っていく方法は、良い教育をしているという実績を世に示す以外にありません。これは、良い医療をしている病院が、最終的には、たくさん患者様を集めることができるのと同じです。

私学ですから、一方で経営のことを考えなければなりません。経営を考えながら教育の質を確保することは、難しい舵取りであることは確かです。しかし、本学の利点もたくさんあります。特に大学院は、東京、福岡の最も便利なおところにキャンパスがあります。これは、非常に大きな利点です。また、本学ほど医療福祉の専門家がそろっている大学は他にありません。本学だけで、日本の医療問題をすべて論じられると言っても過言ではありません。更に、大学と関連病院、医療経営審査機構や医療福祉チャネルなどを組み合わせていくと新しい展開も可能であると思っております。あとは、これを活かす企画力と、人々のびのびと活動できる環境をどうやって作っていくかという問題だと思っております。

二〇〇六年四月、 大学院に「助産学分野」開設

二〇〇六年四月、本学大学院の修士課程保健医療学専攻に助産学分野を開設する。二〇〇六年度の出願は締め切られたが、本学は今後、自立した助産師を育成していく。なお初年度の出願は、大田原キャンパスのみとなる。ほかに、修士課程保健医療学専攻に視機能療法学分野、博士課程保健医療学専攻に臨床試験研究分野も開設する。

家族の幸福、母子保健に貢献

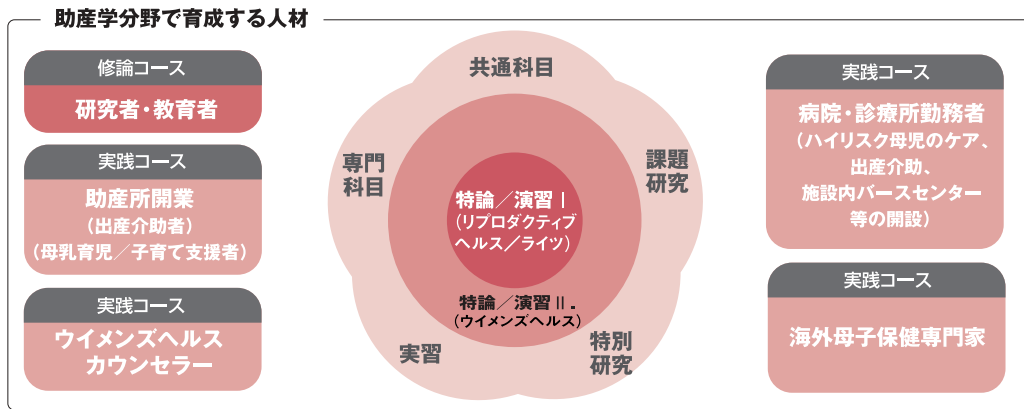


助産学分野 分野責任者
江幡芳枝教授

二〇〇六年四月、大学院保健医療学専攻に「助産学分野」を開設いたします。日本では、助産師・保健師の教育は、戦後、三年の看護師教育終了後に各々一年（法的には六カ月）の教育期間で行ってききました。その後、看護系大学が急増し、保健師と助産師の教育は四年制大学で行われるようになりましたが、次第に助産師教育の質の低下が指摘され、大学院での教育が望まれてきました。二〇〇四年四月、天使大学に日本初の助産師のための

専門職大学院が開設し、二〇〇五年四月には聖路加看護大学大学院に、ウイメンズヘルス・助産学専攻が開設されました。本学は、日本で三番目に大学院での助産師教育を開始します。多くの大学が四年制で助産師教育を行うことの困難性を感じている中で、本学の「助産学分野」開設は大きな刺激になっています。

本学の「助産学分野」は、女性および子ども・家族の幸福に寄与できるケアの研究開発や、根拠に基づいた高度な実践力をもち、他分野と協働して母子保健に貢献できる研究者・実践者の育成を目指しています。具体的には、修士論文コースと実践コースを設け、修士論文コースでは研究者・教育者の育成を、実践コースでは、学部での教育よりも充実した助産師養成と、助産師有資格者のためのスキルアップを目指した教育を行います。本学の助産学分野は、今後の日本における助産師教育の先陣を担ってまいります。



社会人も無理なく学べる大学院

国際医療福祉大学大学院は、わが国の保健・医療・福祉分野で、指導的な役割を担う高度専門医療職を育成するために、仕事を持つ社会人の方にも無理なく学べるように配慮された大学院です。

まずまず高度化する専門領域を深く学びたい方、保健・医療・福祉の分野で指導的役割を果たしうる高度専門職、研究者、教育者を目指す方々に適したカリキュラム、教員スタッフです。

興味を持たれた方には、詳しい内容を記した資料をお送りいたしますので、入試事務室までお問い合わせください。

本学大学院の特色

全国六カ所のキャンパス（大田原、東京、小田原、熱海、福岡、柳川）（二〇〇六年四月、大川に移転）を結び、テレビ会議システムによる授業を実施。多くの授業を、夕方以降と土曜日に実施し、社会人に配慮したカリキュラム。

専攻・分野と定員

「修士課程保健医療学専攻」定員五十四名
看護学分野
助産学分野（二〇〇六年度開設）
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
視機能療法学分野（二〇〇六年度開設）

福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
生殖補助医療胚培養分野
「修士課程医療福祉経営専攻」定員二十名
医療経営管理分野
臨床試験研究分野
医療福祉分野
医療福祉ジャーナリズム分野
「博士課程保健医療学専攻」定員十五名
看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
医療福祉経営学専攻
臨床試験研究分野
医療福祉学専攻

入試のご案内

「日程」
二〇〇六年二月二十八日「消印有効」まで随時出願受付、随時試験実施
「入試科目」
書類選考・小論文・面接（作業療法学分野及び視機能療法学分野は筆記試験あり）
※修士課程は、社会人経験一年以上の方を対象にした「社会人入試」を実施しています。社会人入試は、片親通学及び面接のみとなります。作業療法学分野及び視機能療法学分野は筆記試験あり。
※助産学分野の出願は締め切りました。

大学院入試Q&A

Q1 四年制大学を卒業していないけれども受験できますか？
A1 学校教育法の改正により、短期大学・専門学校以上を卒業し、満二歳以上の方であれば本学大学院修士課程の受験が可能となっています。但し、四年制大学を卒業していない方の場合、分野によって国家資格保持者であることなどの条件が設けられています。必ず各専攻・課程の出願資格をご確認ください。

Q2 社会人で、働きながら履修することは可能ですか？
A2 本学大学院の在籍者の多くが社会人であり、勤務と学業を両立させています。

Q3 入試日程について教えてください。
A3 本学大学院入試は随時出願受付（最終締切二〇〇六年二月二十八日（火））を行っているため、入学試験は出願書類受理後、個別調整の上、実施させていただきます。受験者の皆様のご予定をできる限り考慮させていただきますが、出願時期等によりご

希望の日程に実施できない場合もございます。特に例年出願最終締切日近くになりますと、多くの方々からの出願がごさいますので、出願はできる限り早い時期にお願ひ致します。なお、助産学分野の入試は別方式です。

《学内推薦出願資格》

[修士課程保健医療学専攻]
[修士課程医療福祉経営専攻]
本学を卒業した者、または卒業見込みの者で、学科長の推薦を得られる者

[博士課程保健医療学専攻]
本学大学院修士課程を修了した者、または修了見込みの者で、研究指導教員の推薦を得られる者

《出願期間》
随時（最終締切日 2006年2月28日 [消印有効]）

《選考内容》
書類審査（筆記試験・面接等はありません）

《資料請求・お問い合わせ先（入試事務室）》
電話：0287（24）3200

※助産学分野の学内推薦入試につきましては、12月に終了いたしました

大学院・学内推薦入試のご案内

本学大学院入試の学内推薦枠は、現役の学部生・院生のみならず、卒業生・修了生にも対象が広がられました。学科長（博士課程の場合は指導教員）の推薦が得られれば、書類審査の選考のみで可否を判定します。

また、本学卒業生（修了生）につきましては入学金が免除されます。左記内容をご確認の上、興味がありましたら、入試事務室までお問い合わせください。学内推薦用の出願書類をお送りします。

資料請求・お問い合わせ先（入試事務室）

電話 〇二八七（二四）三三〇〇
FAX 〇二八七（二四）三三九九
E-mail nyushi@iuhw.ac.jp

Q4 出願資格に該当しているか判断できない場合は入試事務室までご連絡ください。メールやFAX等で学歴・職歴・研究歴などを送付頂いた上で出願資格要件について説明させていただきます。

A4 出願資格を満たしているかどうか判断できない場合は入試事務室までご連絡ください。メールやFAX等で学歴・職歴・研究歴などを送付頂いた上で出願資格要件について説明させていただきます。

大学院キャンパス		Campus information	
大田原	〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1 TEL.0287-24-3200 FAX.0287-24-3199		
東京 (サテライト)	〒107-0062 東京都港区南青山1-24-1 TEL. 03-3475-7710 FAX. 03-3475-7709		
小田原 (サテライト)	〒250-0045 神奈川県小田原市城山1-2-25 TEL. 0465-21-0361 FAX. 0465-24-2197		
熱海 (サテライト)	〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1 TEL. 0557-81-9171 FAX.0557-83-6632		
福岡 (サテライト)	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1 TEL. 092-711-1126 FAX. 092-739-1609		
柳川 (サテライト)	〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町116-1 TEL. 0944-72-1001 FAX. 0944-72-1018		
大川 (サテライト)	〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1 TEL. 0944-89-2000 FAX. 0944-89-2001		

高木理事長が台湾を視察

台湾の台北市から車で一時間のところ... 元培科学技術学院に現地視察団(高木理事長、上田教授、陳助教他)を派遣し、今後の両校間の協力関係について、率直な意見交換を行った。



右から林進財・元培科学技術学院校長、高木邦格理事長、蔡雅賢・副校長兼光宇文教基金会執行長

線技師の養成にとどまらず、臨床検査、看護、医療経営管理、環境工学などの学科に加え、放射線、臨床検査、経営管理の修士課程の大学院を設置し、現在は学生総数約八〇〇〇人になっている。

その創設経緯から、同校は放射線の教育分野では台湾随一を誇り、台湾における放射線技師の八割以上が同校の卒業生といわれている。創立記念日が、開学した日ではなく、国際放射線記念日であることから、いかに放射線技師の教育に力を入れているかが窺われる。

台湾でも大学経営をめぐる環境は楽観を許さない状況であり、同校も積極的に海外との関係強化に努力し、これまでに米国、マレーシアなどの教育機関との提携を実現している。同校の今後の検討課題としては、台湾の少子高齢化に対応したリハビリテーション学科の新設、日本の大学との単位互換制度の導入、同校大学院の修士課程修了生の日本における博士課程進学などであり、それらはいずれについても、同校の本学への期待は大きなものであることが感じられた。

（東京事務所 総務部部長 齋藤純）

中国リハビリテーション研究センター一行来学

本学と交流の深い中国リハビリテーション研究センターの幹部職員一行が、二月五日(十五日)から七日(十七日)の両日、本学及び附属熱海病院、山王病院、国際医療福祉病院、国際医療福祉リハビリテーションセンターを視察した。

中国リハセンは、中国のリハビリテーション医療を担う専門職の養成を目的として、中国障害者福祉基金会と日本政府の協力のもと北京に設立された。本学はICCAのプロジェクトに協力し、毎年、教員の派遣と研修員の受け入れを行い支援している。

今回来日した李建軍常務副主任らは、利用者へのサービスからオペ室の運営方法に至るまで熱心に視察して回られた。日本のリハビリテーションの最新事情、リハビリ施設や病院管理の最先端を学ぶことができ、貴重な勉強になったとの感想を残された。

（東京事務所 出版広報室 藤井三枝子）



附属熱海病院のオペ室で横山看護師長(左)が説明。

ファイザー財団、本学研究に助成

「国際生活機能分類(ICF)普及および実用化を目的とした教育研修法の日米共同研究(高橋泰教授)に対し、ファイザーヘルスリサーチ財団は研究助成費五〇〇万円を支援することを決めた。

一〇二一年、高橋らは経済産業省の補助を受け、ICFを分かりやすくするため、主要項目の内容をイラストで表現し、web上で閲覧可能なプログラムを開発、「ICFイラストレーション・ライブラリー」という名称で日本語と英語版をウェブサイトで公開した。このプログラムは英語で記述したICFの内容をテーブルの上に、例えばスペイン語で書きすれば、スペイン語版のイラストレーション・ライブラリーが作成されるよう作られている。

今回の研究は、米国ミシガン大と九州大と共同で取り組む。ICFイラストが、国の文化や慣習の違いによって共通の基準として理解されるのかどうかを、日米の専門家に評価してもらい、より共通の基盤として利用可能にするのが狙い。

ICFイラストレーション・ライブラリーに対して、現在メキシコ政府からスペイン語版作成のための問い合わせが寄せられている。また、WHOの機関誌「プブリテン」で紹介されるなど世界的にも注目され始めている。興味のある方は、日本理学療法士協会のホームページ上で閲覧できる。

（医療経営管理学科 学科長 高橋泰）

薬学部、二六年度より六年制に

学校教育法の改正に伴い、薬剤師育成のための薬学教育について、六年制課程が二六年度入学生から導入される。本学薬学部も二五年度十二月五日付けで文部科学大臣より認可され(定員増加も)二六年度入学生より六年制薬学部(定員百八十名)へ移行する。

六年制教育の新しいカリキュラムでは、医療系分野の中でも臨床教育をさらに充実させ、安全かつ安心な薬物療法に必須である病気の知識を深めることを目指している。特に、従来の四年制教育では不十分であった臨床実務実習については六カ月間実施することが必須となり、卒業後の薬剤師国家試験受験資格の必須要件にもなった。また四年生終了時には、共用試験・客観的臨床能力試験(CBOT)によって、薬学の基礎知識と臨床実務実習に対する必要な知識・技能・態度の確認が行われる。共用試験に合格すると、一カ月間の大学における事前実務実習(本学模擬薬局施設を利用)を終えた後、学外における病院薬局と調剤薬局における実務実習がそれぞれ二カ月半実施されることになる。

また、卒業後の多様な進路選択にも対応できるように、医療現場のみならず、創薬(薬を創る)や育薬(薬を育てる)の場にも貢献できる人材を育成すべく、ゲノム創薬科学から製剤設計、臨床試験管理、医療経済、MR実践論なども学べるカリキュラムも用意されている。新し

インターネットを利用した声の健診

医療の現場では身体の一部、尿などの排泄物を検査することによって診断を行うことは一般的である。ここで考えてみると、声も身体の一部であるといえる。その声の状態によって、声の源泉である喉頭の状態が分かるであろうことは想像に難くない。声が悪化すると音響分析上、異常がみられる。すなわち、ピッチや振幅の乱れ、雑音成分の増加などである。

声は遠方に容易に送ることができる特色がある。現在の先端技術であれば声の成分を正確に送ることができる。例えば中央に高精密度の音響分析装置があり、そこに患者様が声を送れば自動解析される。この結果を専門医に配信すれば安全である、あるいは喉頭癌の可能性があるなどといったことが分かり、患者様に通知して内視鏡の検査などを勧めるようになる。

そのような背景から、富士通のベンチャー企業であるアニモと国際医療福祉大学東京ボイスセンターがインターネットを利用した声の自動診断システムを共同開発した。まずパソコンに接続された音声入力装置で声が収録され、インターネットでアニモに送られると、高速で解析が行われる。専門医はインターネットでサーバーにあるデータを聴取し、診断をする。結果はサーバーを通じて健診機関などに送られる。これは、人間ドックや健診、生命保険会社の音声診断サービスなどに応用されると期待されている。

（東京ボイスセンター 所長 福田宏之）

義肢装具GSDを山本教授らが開発

二〇〇五年十一月、日本義肢装具学会で、本学大学院福祉援助工学分野の山本澄子教授が、従来の装具の概念を変える

診療情報管理士認定試験、認定校中トップの合格率

病院の診療情報を扱う専門職として医療機関から注目されている「診療情報管理士」認定試験が、二〇〇五年九月十八日に実施された。診療情報管理士は、社団法人日本病院会による認定資格であり、本学は診療情報管理士認定試験受験指定大学(認定校)となっている。

「診療情報管理士コース」は本学科のコースの一つとして設置され、診療情報管理士の育成を目指している。通常授業のほか、学科教員による半年間の補講体制及び模擬試験による受験指導を充実させたカリキュラムが構築されている。

認定試験結果は、受験生全体の合格率四七％に対し、本学の現役合格率は五九％(卒業生含五四％)、合格者二九名だった。前年度より十三名増加し、一・八倍の伸びを示している。また、認定校四大学のうち合格者数、合格率ともに本学がトップの成績であった。

(医療経営管理学科講師 山本康弘)

「看護生涯学習センター」開設

二五年度十月、本学は看護生涯学習センター(センター長 中西睦子教授)を開設した。当センターは東京キャンパス(東京都港区)を拠点とし、二六年度より、日本看護協会認定の「認定看護管理者ファーストレベル」講座などの開講を予定している。大学院における高度専門教育にとどまらず、看護職の方々の多様な学習のニーズに添えていく。受講についてのご案内などは、二月頃より逐次大学ホームページなどに公開する。

(大学院 東京キャンパス 大澤倫子) 問い合わせ先: 看護生涯学習センター http://www.uhwa.ac.jp

三(三四七五)七七一四 大澤宛

キャンパスレポート

Campus report

Report 第十回学長杯 スピーチコンテスト開催

十二月十四日、第十回学長杯スピーチコンテストが開催された。参加資格は全学部生（前年度の優勝者は除く）。本選では、一年生から三年生までの十二人が自分の好きな英詩を選び、自分なりの解釈と表現力で朗読を行った。

今年には朗読する英詩を、英語を母語とする作者の作品に限り、小道具は使わず朗読のみで行ったせいだが、十九世紀から現代まで多彩な詩が集まった。

審査項目には英語の発音はもちろん、演出や表現力まで含まれる。審査の結果、一位は言語聴覚学科三年の山本彩香さん（昨年度二位）、二位は看護学科二年の上瀧口優子さん、三位は理学療法学科二年の入江容さんと、合計七人が入賞した。（語学教育センター 講師 千葉礼子）



学長の左が一位の山本彩香さん、その左が三位の入江容さん、学長の右が二位の上瀧口優子さん。なおコンテストの司会は、看護学科二年の原田麻紀子さん（後列左）によって行われた。

Report 医療経営管理学科・三年病院実習報告会

十一月二十六日に、医療経営管理学科三年病院実習報告会が開催された。今回の報告会には、二つの大きな特徴がある。

が多く、現場に身を置いて行われた研究が主体であることは意義深い。社会福祉の現場でも、近年エビデンス・ベースド・プラクティスの考え方が重視される傾向にあり、学生にはこれに対応できる力を養うことが求められている。卒業研究を通して、自分自身の問題意識を育て、研究、発表することの意味を知ることができたのではないだろうか。卒業後にこの体験が実践に生かされることを期待したい。

（医療福祉学科 講師 永野なおみ）

第一回卒業研究発表会を終えて

一月一日、第一回視機能療法学科卒業研究発表会が開催されました。私達は、立体画像による視覚負荷前後の調節変化」というテーマに取り組みしました。

一期生で卒業研究の前例がないということもあり、最初はどう進めていけばよいのかと戸惑い、悩みました。しかし、先生方にご指導いただき、悪戦苦闘しながらも班員が協力して、一つ一つの問題を解決し、納得のいくものに仕上がりました。

今回の発表会では、私達が伝えたいことを上手く伝えられたと思います。また、他の多くの研究内容も興味深いもので、とても勉強になり、得たものは大きいと思います。

視機能療法学科四年 関口美佳



今回の研究発表を通じて、研究・発表の難しさと達成感というものを学びました。今後更に研究への理解を深めていきたいと考えています。

●受賞者コメント

一位 山本彩香（言語聴覚学科三年）
スピーチコンテストの季節になると、もう冬だなと感じるくらい私はコンテストに親しみがあるのですが、十周年という記念の年に念願の優勝トロフィーをいただくことができました。仲間と一緒に頑張れたことが嬉しかったです。

二位 上瀧口優子（看護学科二年）

始めは緊張してしまい、大丈夫かなと不安になりましたが、他の出場者と励まし合い、触れ合っただけでなく、三位入賞というprestigeまでいただくことができました。人前で話す自信が持てたことが私にとって何よりの収穫でした。

三位 入江容（理学療法学科一年）

英語と表現力で、どこまで気持ちを伝えられるのかとの気持ちから参加したSpeech Contest。今年、人生をやり直している私にぴったりの詩を伝えられただけでなく、三位入賞というprestigeまでいただくことができて、驚きと共に喜びをかみしめています。

プログラム PT:理学 RT:放射 HM:経営 ST:言語 HS:福祉 NS:看護

氏名	所属	題名
木元優香里	PT 3	For Peace by James H. Lee Jr.
新田見耕太	RT 2	The Tiger by William Blake
小澤昌治	HM 2	The Road Not Taken by Robert Frost
入江容	PT 2	If I Had My Life to Live Over by Nadine Star
高水久鈴	ST 2	Stopping by Woods on A Snowy Evening by Robert Frost
熊谷弘恵	HS 1	Annabel Lee by Edger Allan Poe
枝尾英美	ST 2	Extract from the Prelude by William Wordsworth
菊地まどか	PT 1	The Road Not Taken by Robert Frost
上瀧口優子	NS 2	The Fish by Marianne Moore
山口亜維	NS 2	The Songs of Wandering Aengus by William B. Yeats
湯口絵里菜	NS 2	Youth by Samuel Ullman
山本彩香	ST 3	Sleep! Sleep! Beauty Bright by William Blake

Report 学生&企業研究発表会で 本学学生が真知事賞

十二月三日、とちぎ大学連携サテライトオフィス主催の第二回学生&企業研究発表会がとちぎ産業創造プラザで開催され、本学からは六組十一名が参加した。大学院保健医療学専攻博士課程三年の高橋幸加さんが、最高賞となる真知事賞を受賞、本学の出場者全員が入賞以上を果たした。（本校教務課）

口頭発表の部

真知事賞・金賞 高橋幸加（保健医療学専攻博士課程三年）

「通常学級の担任教員を支援するシステムの構築」

銀賞 松本晴美（看護学科四年）

「臨地実習を通して捉えた看護におけるリハビリテーション」看護大学生六の質問紙調査から」

奨励賞 青木俊介・高橋セニール（医療経営学科四年）

「亜急性病床の現状分析」

ポスターセッションの部

奨励賞 書上まり子（看護学科四年）

「自閉症児の親が医療者に求める対応」アンケート調査より」

奨励賞 橋本愛子（看護学科四年）

「喫煙問題について考える」看護学生の立場から」

入賞 中村仁美（看護学科四年）

「突然の入院となった成人期男性患者の心理過程の一考察」臨地実習で受け持った患者を通して」

Report 大学院D1/D2研究報告会

十二月十八日、東京キャンパスにて博士課程の研究報告会が開催された。実践

研究課題	分野	氏名	指導教員
発展途上国農村部で普及可能な短下肢義肢の開発	理学2年	石井博之	丸山仁司教授
簡便かつ再現性の高い等尺性下肢筋力測定方法の検討	理学2年	加藤宗規	丸山仁司教授
慢性閉塞性肺疾患における呼吸筋に関する研究 -超音波画像からみた呼吸筋と肺機能、運動耐容能の関連性-	理学2年	金子秀雄	丸山仁司教授
太極拳運動による高齢者の身体機能向上及び転倒・骨折予防に関する研究	理学2年	金信敬	丸山仁司教授
小型センサを用いた簡易動作分析システムの開発	理学2年	柘幸伸	丸山仁司教授
大腿骨頸部骨折患者の機能予後に関する検討	理学2年	藤田博暁	潮見泰蔵助教
Factors affecting Physical Performance of the Elderly in Philippines and Japan: Basis for Intervention Models	理学2年	Dorothy Tan Morala	潮見泰蔵助教
介護予防事業（パワーリハビリテーション）の要介護高齢者とその家族への影響	医療福祉2年	榎本雪絵	竹内孝仁教授
過疎農村地域における農村女性の在宅介護の中で、介護と農業を継続する意味とその方法に関する記述的研究	医療福祉2年	芝山江美子	竹内孝仁教授
認知症高齢者のヴァーバルコミュニケーション	医療福祉2年	福嶋裕美子	竹内孝仁教授
家族介護者のストレスとその関連要因 -認知症高齢者を中心に-	医療福祉3年	山口豊子	竹内孝仁教授
重度重複障害児(者)の視覚反応を促す対象の解明	医療福祉2年	阿部浩美	鎌倉矩子教授
電動ギャッチベッドの背上げ時姿勢評価	医療福祉2年	窪田聡	山本澄子教授
脳卒中片麻痺者の立脚初期身体前方回転が阻害される要因の検討	医療福祉2年	櫻井愛子	山本澄子教授
上肢切断が身体に与える影響の運動学的分析 -より効果的な作業療法を提供するために-	医療福祉2年	森田千晶	山本澄子教授
リニアックグラフィの画質改善に関する研究	放射線2年	佐藤洋	飯沼一浩教授
低線量放射線照射の生物影響に関する研究 -低線量照射により誘導されたショウジョウバエ幼虫のautophagic cell deathの解析-	放射線2年	金尾智子	野原功全教授
国立大学附属病院の経営及びISO9001の取得に関する考察	経営2年	坂本泰敏	開原成允教授
医療事故防止・抑制に効果的なインセンティブの研究	経営2年	新保忠宣	開原成允教授
シミュレーションをとり入れた病院経営学の教育	経営2年	高橋加代子	開原成允教授
医療安全確保のためのトレーサビリティシステムの比較研究	経営2年	中村陽子	開原成允教授
「外国に治療を受けにくい日本の患者に関する研究」	経営2年	平塚佳也乃	開原成允教授
福祉サービスの質の向上に資する施設経営のあり方についての研究	経営2年	森川弘文	開原成允教授
「ICFを用いた慢性期疾患の包括的評価指標の開発」	経営2年	横山重子	高橋泰教授
包括的医療福祉提供施設における高齢者ターミナルケアに関する研究	経営2年	大谷聡	佐藤貴一郎教授
救命救急センター看護師の職場定着に関する諸要因とその分析	看護2年	鳥原真紀子	中西睦子教授
女性透析患者の妊娠出産に関する自覚性や意思決定に必要な情報基盤の検討	看護2年	岩崎和代	湯沢八江教授
ムコ多糖疾患児(Mucopolysaccharidoses以下MPS)の看護援助に関する基礎的研究	看護2年	久保恭子	湯沢八江教授
清拭によるヘモグロビン濃度の変化:近赤外分光法(NIRS:near-infrared spectroscopy)による検討	看護2年	豊田省子	佐々木由恵助教
中国東北部本溪市高齢者の心身不自由度と介護ニーズに関する研究	福祉援助2年	張瑩	長谷川豊教授

Report 理学療法学科・卒業研究発表会

十一月九日、第七期生である理学療法学科四年生の卒業研究発表会が開催された。

本年の発表会の特徴は、口述発表とポスター発表いずれの発表でも、発表者全員が原稿を読まずに発表したことである。学会でも原稿を読み上げる研究者が多い中で、本学科学学生のプレゼンテーション能力は確実に向上している。

根拠ある理学療法（医療）であるEBMが求められている昨今、臨床家といえ研究能力は重要である。また臨床現場においても、相手に伝えたいことを確実に伝える能力は必須である。こうした理学療法士を取り巻く環境を鑑みても、卒業研究や発表会は貴重な経験となる。（理学療法学科 助手 下井俊典）

Report 医療福祉学科・卒業研究発表会

十一月十八日、医療福祉学科の卒業研究発表会が行われ、六期生一四二名がその成果を発表した。この発表会には毎年三年生全員が参加しており、今回も先輩の発表に、真剣に聞き入る姿が見られた。

研究テーマは、障害者の就労支援や高齢者施設のユニットケアのあり方、学校でのソーシャルワークなど非常に幅広く、学生の関心の広がりを感じられるものであった。調査や事例分析などにより、その問題の実態に即してまとめられたもの

に基づいた多様なテーマの研究が報告され、本大学院らしい報告会となった。今後も論文完成までにはいくつもの障壁が予想されるが、本報告会での活発な質疑が現段階から次のステップに進む力になればと願う。（大学院 講師 島田千穂）

一年を振り返り、 来年度の夢をみる

大川キャンパスレポート

第三回



リハビリテーション学部
作業療法学科 学科長
古川昭人



忙しい開学準備を終え、四月九日の入
学式に二〇二名の新入生を迎えて九カ月
国際医療福祉大学の福岡・大川キャン
パスとしての歴史は始まったばかりである
が、特色ある大学創りに向けて教職員・
学生ともども頑張っている。
この一年を振り返ると、新設大学とし
て多くのイベントが計画され、実行され

た。
慌しい開学準備を終え、四月九日の入
学式に二〇二名の新入生を迎えて九カ月
国際医療福祉大学の福岡・大川キャン
パスとしての歴史は始まったばかりである
が、特色ある大学創りに向けて教職員・
学生ともども頑張っている。
この一年を振り返ると、新設大学とし
て多くのイベントが計画され、実行され

二日目、各種計画が白押し
これからは入試の作業とその結果が気
なる時期となったが、この一年のさまざま
な活動結果を総括し、来年に向けて有効的
に反映させていきたいと考えている。特に
志願者数の増加・入学者の質的向上を目的

大学全体で広報活動と行事を実施
入学式後まもなく、学生・教職員の融
和と大学生活の自覚性向上を目的とした
「新入生合宿研修」を二泊二日で実施し
た。六月から開催されたオープンキャン
パスは、十月までに計六回が企画実施さ
れた。加えてキャンパスツアーを計四回
実施、大学説明会が夏季・秋季に約二〇
回開催され、教員による高校訪問も九州・
山口地区の約二〇〇校を対象に実施され
ている。
大学としての広報・啓蒙活動には、こ
の一年、学内全体で取り組んできたとい
える。その間、高邦会グループ各施設と
養成校・大学との合同大運動会が開催さ
れ、また、高木病院・大学共催による開
学記念の夏祭りや地域還元の意味を含め
て実施された。
学生の動きに目を転じると、七月には
学生会が発足し、十月末には学生自治会
として初の事業企画である第一回大学祭
「月華祭」が企画実施された。イベント・
展示・舞台等、学生が役割を分担して全
員参加の大学祭を演出し、約四〇〇名の
参加で幕を閉じた。いくつかの反省事項
は残ったものの、来年に向けて大きなス
テップになったと感じている。

登録名「大川ドラゴンカーズ」。
チーム名からは、知性はあるか品性すら
も感じられない。しかし、未成年のくせし
て、「ドラゴン」を気取ったこのアパッチ
どもが、やることはきちんとやってくれる。
二〇〇五年四月のチーム結成以来、公式戦
十三勝四敗と快進撃を続けているのだ。
草野球レベルとはいえず、大川市内Cリー
グの大会に二度出場して優勝と準優勝、大
川市全体の大会ではベスト8、十一月二〇
日・二二日に福岡県内十四のリハビリ系養
成校及び病院で争われた夫婦岩杯でも三位
と堂々たる戦績だ。

この強さの秘訣のひとつとして、全男子
学生六〇名のうちの十四名もが部員とな
り、その内九名が野球部出身者であるとい
う点が挙げられるだろう。未経験者たちも
よく練習し、急速に腕を上げている。スタ
メンに必ず二
人の未経験者
が名を連ねる
など、全員野
球がドラゴン
カーズの魅力だ。
来年度以降、
正式な体育会
軟式野球部へ
の昇格が期待
される中、部
員達は冬の基礎トレーニングに余念がな
い。

大川キャンパス軟式野球サークルの快進撃
リハビリテーション学部 作業療法学科助手 桐木光（軟式野球サークル顧問）
大田原キャンパスの皆様、「この大学に
軟式野球部は二つも要らん！」とお思いで
したら、ここは一つ看板を賭けて我々に胸
を貸してくれませんか。負けた方がサーク
ルに格下げということではいかがでしょう？



成年次に向けて、施設・学生数など、大
学としての内容・規模の拡充・整備が望
まれるところである。
これからの大学創りとしては、地域に
還元できる大学機能の構築整備に向けて
の検討、関連施設との研究・臨床教育等
に関する協力関係づくりの推進について
大学として活動していきたいと考えてい
る。
来年は二学年となり二〇〇名の学生数
となる。学生による伝統始動の年、十年
先には大輪の花になるべき良い種を植え
付けたいものである。

Report

国際交流親善パーティー開催

年末恒例の大学主催「国際交流親善パ
ーティー」が二 五年十二月十五日、那
須アスリーナで開催された。参加者は、
留学生三十名、海外研修参加学生・帰国
学生十二名、ホストファミリーに千保大
田原市長をはじめとする来賓や本学教職
員を合わせ、総勢七十五名であった。
学長の開会の辞の後、来賓の千保市
長、後藤大田原国際交流会長のご挨拶を
いただき、長谷川専務理事の乾杯の音頭
でパーティーが始まった。食事を楽しんだ
後、学生と教員が一緒になってケニア、
フィリピン、中国、日本の歌を唄った。
ビンゴゲームでは、関係者のご協力で集
められた沢山の景品を参加者全員が手に
した。



学長を囲む留学生たち

留学生がパキスタン北部地震
被災者を支援
本学留学生会は、パキスタン北部地震
の被災者を支援するため募金活動を実施
し、大学構内で学生や教職員らに協力を
呼びかけた。
留学生会代表の張永勝さんが、集まっ
た募金四万七千四百六十六円を日本赤十字社
に寄附した。この中には第十回風花祭で
留学生会が販売した手作りの「餃子」や
「ちぢみ」の売り上げや、医療福祉学科・
浅香ゼミからの募金も含まれている。張
さんは、「快く協力してくれてうれし
い。今後も地域交流やボランティア活動に力
を入れたら」と話した。（本校学生課）

言語聴覚センターで
ミニセミナー開催
国際医療福祉大学クリニック・言語聴
覚センターでは、ミニセミナーを開催し
ている。第四回ミニセミナーでは、一月
十日（火）に本学言語聴覚学科の森田秋
子先生が、「物忘れへの理解と対応」と題
して講演した。
第五回は、三月十四日（火）十九時より、
東京大学附属病院言語聴覚士の阿部雅子
先生が、「子供の構音について」と題し、
子供の発音についてセミナーを行う予定。
（言語聴覚センター 言語聴覚士 内海景子）
国際医療福祉大学クリニック・言語
聴覚センター（内海・後藤・落合）
電話：〇二八七二四・一三三三
FAX：〇二八七二四・一〇〇三

Report

地域の子供と 本学学生が音楽で交流

十一月二十日、どんぐりスマイル合唱
団（大田原市黒羽町）の子供たち二十六
名と、本学コーラス部十三名及び交響楽
部十二名による「夢のかけ橋音楽会」が
開催された。この音楽会は二〇〇四年に
黒羽町に発足した手づくりコンサート実
行委員会（小沼重信会長）の「二十一世
紀を担う、世代の違つ若者が一同に介し、
音楽を通じて交流をはかり、心豊かな潤
いある地域と子供の育成に貢献」しよ
うとの呼び掛けにより実現した。
第一部は交響楽部とコーラス部が演奏
第二部では作曲家の田中聡美氏が芭蕉の
句にオリジナルの曲をつけて交響楽部が
演奏し、子供たちとコーラス部が合唱し

大会結果報告
第60回国民体育大会成年女子標準障害飛越競技（馬術）
2005年10月23～27日、於岡山県蒜山ライディングパーク
12位（決勝進出）
医療福祉学科4年・廣田恩乃 栃木県代表
2005年度関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦
2005年10月9日
女子5部 1位 ソフトテニス部 4部へ昇格
第40回会長杯争奪卓球大会
（関東学生OB卓球連盟主催・関東学生卓球連盟共催）
2005年10月24～25日
男子シングルスBブロック 優勝
医療経営管理学科2年・小森充人（卓球部）
2006年度全日本学生選手権の関東枠推薦選手に決定



演奏会は、地域で音楽活動の指導支援をしている藍原
恵子氏による指揮で行われた。

武道場に姿見を設置
那須アスリーナ内の武道場に、教育後援会の助成
により移動式のスポーツミラー二台が設置された。
武道は形を重んじる競技で、形を競う競技もある。
学生は自分の姿を鏡に映し、欠点を矯正しながら鍛
えることができる。今後の大会でのますますの活躍
を期待したい。（本校学生課）

ご挨拶

国際医療福祉大学附属熱海病院
院長 神崎 仁
病院長 神崎 仁
（日本耳鼻咽喉科学会副理事長）

熱海病院は、二〇〇五年七月に新病院を開設しました。病院は地下二階、地上八階あり、地下といつても実際は地上にあたり、また海岸に面しており、海側に障害物がないので、まさにオーシャン・ビューです。海の風景は患者様のみならず、職員にも癒しを与えています。院内には温泉浴室を備え、設計もホテルを思わせるしやれたデザインで、絵画がいたるところに飾られており、海の癒し効果を増幅しています。玄関を入ると目の前に、病理の北村教授の父上の「マルセイユの旧港」の素晴らしい絵が、まず目に入ります。続いてタレントの片岡鶴太郎氏の魚の絵などが所狭しと並んでいます。

さて、二〇〇六年は看護師の充実により八階病棟をオープンすることが目標の一つです。健康医学センターの検診者も徐々に増えており、一月からPET・CTも稼働します。また、メディカルクラブの会員、健診希望者の増加が予想されます。外来、入院患者数、全身麻酔による手術件数もまだ上昇中ですので、さらに進化すると予想されます。外来の待ち時間の解消、入院待ちの期間短縮、接遇など改善すべき課題はありますが、時間の問題とっております。

熱海での快適な検診もお勧め致します。

外来医師担当表 平成 17年12月19日現在

診療科	日		月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	築山(循)	築山(循)	築山(循)	重政(循)	岡田(循)	小林(循)	築山(循)	小林(循)	重政 1	岡田(循)	重政(循)	岡田(循)	清川(呼)	清川(呼)
精神科	-	-	井上 8	井上 8	岩脇 8	岩脇 8	-	高山 8	-	-	-	-	-	-
外科	鈴木	村上	岩崎	韓	鈴木	鈴木	羽鳥	韓	鈴木	韓	岩崎	村上	村上	村上
呼吸器外科	中村	中村	田口	-	手術	手術	中村	田口	田口	川崎	川崎	川崎	川崎	川崎
形成外科	-	-	-	-	-	-	-	-	田中	田中	-	-	-	-
整形外科	伊藤	伊藤 9	伊藤	手術	伊藤	-	原	手術	原	-	1人(交代)	1人(交代)	1人(交代)	1人(交代)
乳腺外科	北谷	-	北谷	-	北谷	-	北谷	-	北谷	-	-	-	-	-
リハビリテーション科	-	林	-	-	-	-	林	-	-	-	-	-	-	-
皮膚科	佐々木	佐々木 2	小林	小林 2	佐々木	手術	小林	小林 2	矢田	矢田 2	1人(交代)	1人(交代)	1人(交代)	1人(交代)
小児科	藤澤	交代制	藤澤	交代制	乾	交代制	藤澤	交代制	十河	交代制	肝臓・消化器外来 3	高崎	-	-
総合診療科	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居
脳神経外科	一般外来 交代制 6	藤井	藤井	-	藤井	-	藤井	-	藤井	-	藤井	-	藤井	-
ペインクリニック	-	-	奥津	-	-	-	-	-	奥津	-	-	-	-	-
産婦人科	林 10	-	林 10	-	林 10	-	林 10	-	林 10	-	林 10	-	林 10	-
婦人科	五来	五来	五来 5	手術	五来	五来 5	五来	五来 5	五来 5	手術	五来	五来	五来	五来
歯科口腔外科	藤川	藤川	藤川	-	藤川	-	藤川	-	藤川	-	藤川	-	藤川	-
泌尿器科	栗山 6	手術	栗山	栗山 7	栗山 6	手術	栗山	栗山 7	栗山	栗山 7	栗山	栗山	栗山	栗山
眼科	陶山	陶山	陶山	-	-	-	陶山	陶山	陶山	陶山	陶山	陶山	陶山	陶山
耳鼻咽喉科	横山	神崎 4	神崎	手術	横山	手術	神崎	神崎 4	横山	横山 4	横山	横山	横山	横山
放射線科	塩野	塩野	-	-	-	-	塩野	塩野	-	-	-	-	-	-
病理	北村	北村	北村	北村	北村	北村	-	-	北村	北村	北村	北村	北村	北村

1 第1・3・5金曜日の午前の診療となります。
2 皮膚科午後診療は、原則予約制です。
3 乳児健診は金曜日の14:00-15:30、予防接種は火・水曜日の14:00-15:30に行います。(予約制)
4 耳鼻咽喉科外来の月曜日は補聴器外来、水曜日はめまい・聴覚外来、金曜日はめまい外来で予約制です。
5 婦人科の火曜日・金曜日の午前受付は原則11:00までです。水曜日と木曜日の午後は原則予約制です。
6 3名のうち、手術対応でない医師が外来を行います。
7 泌尿器科の午後は検査予約優先のため、一般診療の方はお待ちいただきます。
8 精神科は非常勤医師による交代制です。
9 整形外科の午後の診療は原則予約制です。
10 産婦人科：林先生の月・火・金・土曜日の外来は予約制です。水曜日は初診外来です。
11 産婦人科：林先生の月・火・金・土曜日の午後(14:30-16:30)のみで予約制です。

【受診のご案内】

受付時間 診療時間

午前の部 08:30 ~ 12:00 09:00 ~ 13:00

午後の部 13:00 ~ 16:30 14:00 ~ 17:00

診療日 月曜日～土曜日 但し日曜日、祝祭日は休診日

国際医療福祉大学附属熱海病院 電話番号0557(81)9171
急患の場合は随時受付けておりますので、ご相談下さい。

外来医師担当表 (1月) 平成 18年1月1日現在

区分	月	火	水	木	金	土		備考
						第1・3	第2・4	
内科 1階	午前 大山 秋山中野 小野	火 大山 秋山 小玉 佐藤圭一	水 佐藤圭一 由井 小五	木 洪 佐藤教久 多比良 武田	金 大山 小山 中野 阿部 船木	土 第1・3 小山 阿部 中野 船木	土 第2・4 大山 秋山 佐藤圭一 船木 大塚	
外科・消化器センター 1階	午前 眞船	交番制	折口 久保田	交番制	交番制	交番制	交番制	・予約診療時間でも予約外で診察可能な場合がある。事前に電話でお問合せください。 ・折口医師、血管外科、静脈・むくみ水曜日・午前 ・小山医師・樋口医師は消化器内科の担当です。
脳神経外科 1階	午前 岩崎	朝本 畑山 光山	交番制	交番制	交番制	交番制	交番制	・金曜日午後の専門外来(頭痛・神経)は14:00からの診療(予約)となります。
整形外科 1階	午前 前野 柳本	福井 川	石川 須田 (第4)	石川 川	池上健	交番制	交番制	・福井医師(骨髄炎・火・木・金曜)午後 予約制 ・柳本医師(股関節)第4金曜・午後 予約制 ・須田医師(ひざ)第4水曜・午前 予約制 ・池上博幸医師(手)第4月曜午後
婦人科 2階	午前 井川	井川	高橋	井川	井川 三浦	交番制	交番制	
眼科 1階	午前 征矢 金田	交番制	征矢 金田	征矢 金田	征矢 金田	征矢 金田	征矢 金田	・午後の診療日は原則、予約制になります。 ・水・木曜日の午後は手術のため医師は不在です。 ・火・土曜日の予約受付は15:00までとなります。
耳鼻咽喉科 2階	午前 渡邊 西山	本橋	渡邊 西山	渡邊 西山	渡邊 西山	渡邊 西山	渡邊 西山	・月・水曜日午前の西山医師、水・金曜日の午前 渡邊医師は10:00からの診療となります。 ・平日午後は予約制となります。 ・倉島医師の「めまい外来」は15:00からの診療 となります。予約優先ですが予約外でも診察可能 な場合がありますので事前に電話でお問合せ ください。
皮膚科 1階	午前 久保 蓮田	久保 蓮田	久保 蓮田	久保 蓮田	久保 蓮田	久保 蓮田	久保 蓮田	・予約優先ですが予約外でも診察可能な場合が ありますので事前に電話でお問合せください。 ・水・木曜日のレーザー治療は完全予約制です。
泌尿器科 1階	午前 服部	服部	松下	松下	服部	服部	服部	
歯科口腔外科 2階	午前 齊藤 (手術)	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	・初診の受付は月～金曜日の午前11時まで となります。
小児科 2階	午前 松井 高木	根本充 伊能	保科 根本充	松井 伊能	松井 高木	高木 伊能	高木 伊能	専門外来 松井医師 アレルギー (金曜・午後) 荒木医師 神経 (第3水・午前) 土井医師 循環器 (第1水・午前) 鈴木医師 神経 (水曜・午後) ・健診・予防接種の終了後、一般の診療を受け ています。
精神科 1階	午前 高山	高山	高山	高山	高山	高山	高山	・土曜日は完全予約制となります。
乳腫瘍センター 2階	午前 吉本 師田	吉本 師田	第1・3 第2・4 師田 吉本	吉本 師田	吉本 師田	吉本 師田	吉本 師田	・吉本医師の診療は予約制です。 ・手術予定日でも診察可能な場合があります ので事前に電話でお問合せください。
頭痛センター 2階	午前 鎌田 三浦	鎌田 三浦	鎌田 三浦	鎌田 三浦	鎌田 三浦	鎌田 三浦	鎌田 三浦	・手術予定日でも診察可能な場合があります ので事前に電話でお問合せください。
呼吸器科 2階	午前 佐藤	中野 池田	中野 池田	中野 池田	中野 池田	中野 池田	中野 池田	・土曜・日曜・池田医師・林医師の交番制 ・第1,3土曜・日曜・午後:中野医師 ・第2,4土曜・日曜・午後:佐藤医師
産科・ペインクリニック 3階	午前 阿久根	阿久根	阿久根	阿久根	阿久根	阿久根	阿久根	・診療は月・水・金曜日の午前のみです。

診療受付時間(月～土)

午前8:30～11:30
午後12:30～16:30

*外来担当は諸事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。

国際医療福祉大学 附属三田病院
電話03(3451)8121

施設インフォメーション
News・Affiliated Facilities

国際医療福祉大学附属三田病院

院長 田中靖彦
病院長 田中靖彦
(厚生労働省特定疾患対策懇談会委員)

ご挨拶

二〇〇五年三月に東京専売病院を継承し、国際医療福祉大学附属三田病院として新たな年を無事に迎えました。これも理事長はじめ本部の方々のご指導とスタッフ全員の努力、皆様方のご支援のおかげです。

援の賜物であると感謝いたしております。診療報酬改定も具体化され、医療を取り巻く情勢は一層厳しくなっております。その中で、よりよい医療を提供していくにあたり、医療人としてのさまざまな意識改革が要求されております。私どもは、施設運営にかなう経済基盤を確立しながら、地域のニーズに応じる体制を整えて、患者の皆様が目線に立った医療を提供してまいります。

「意識改革」は言葉としては簡単ですが、伝統の上に創られてきた文化の変革を意味することから、多少時間がかかることであると認識いたしております。しかし、三田病院は、新しい年の出発とともに、三年後の新病院建設を目指して、輝かしい新たな一歩を力強く踏み出します。本年もよろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

臨床医学研究センター(栃木地区)

国際医療福祉病院

ご挨拶

国際医療福祉病院 病院長 佐藤郁夫 (日本産科婦人科学会名譽会員・栃木支部顧問)

国際医療福祉病院は、新病院となつて二〇〇六年で満四年となります。この間、地域住民の皆様の温かいご支援により、質量ともに充実してまいりました。

二〇〇五年は全国的医師不足や小児救急体制の危機が取り沙汰されましたが、二〇〇六年は診療報酬の過去最大三・一六%引き下げが決定し、医療を取りまく環境は更に厳しくなることが明らかです。

そうした情勢の中、当院は二〇〇五年より臨床研修指定病院として、臨床研修医の受入を開始しております。今年も臨床研修医五名、後期研修医二名を受入れる予定です。また昨年四月に小児救急拠点病院に指定され、県北の厳しい小児救急医療の状況下でありながら、月曜の九時から土曜の十七時まで二十四時間体制で県北の小児医療に貢献しております。

大学の関連施設としては昨年八月に国際医療福祉大学と連携し、学部間の垣根を越えたチーム医療の在り方を実習する「関連職種連携実習」を日本初の試みとして実施しました。今後とも大学との関係性を密にし、地域医療の将来を担う医療人育成に尽力してまいります。

県北の中核病院として、これまで以上に良質な医療を提供すべく努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

臨床医学研究センター(九州地区)

高木病院

ご挨拶

高木病院 病院長

(日本肝臓学会評議員) 山本匡介

高木病院は、高邦会グループの中核病院で、福岡県南部・佐賀県南部地区の基幹病院として、安全で良質な医療の提供に努めております。

人間ドックや産業健診における予防医学、循環器センターや脳疾患センターにおける救急医療、さらに、不妊センターにおける高次医療や心臓リハビリなど急性期から回復期リハビリに至るまで、幅広い医療を提供しております。また、アメニティの充実によって心安らぐ快適な療養環境も整備されています。

一昨年より診療情報統合システム(電子カルテ)が導入され、業務のスピードアップとともに、診療録データが共有され、クリニカルパスやDPCへの準備も完了いたしました。本年秋には、PET-CTの導入を計画しており、肺がんや肝がんをはじめとする悪性腫瘍の診断と治療が本格的に始まります。

また管理型臨床研修指定病院として一六名の医師が研修中で、医師やスタッフも意欲的に教育や診療を行い、院内が活性化されています。研修は高邦会・国際医療福祉大学グループの病院での選択も可能で、応募者数は毎年増加しています。今後とも、職員一同、患者様のご期待に応えられるよう尽力いたす所存です。

「物忘れ外来」開設

国際医療福祉病院で神経内科外来をはじめ、五年、当初から残念に思いましたのは、来院される患者様に認知症がかなり進んでいる方が多くみられたことです。認知症(特にアルツハイマー病)は、根本治療はまだありませんが、早期に治療介入することで、よりよい状態をより長く維持できる可能性があります。

これは介護負担減少、医療費負担減少にもつながります。認知症関連の病態が今後増え続ける状況を踏まえ、認知症の早期診断・治療の重要性を強く感じてまいりました。そうした中、当院では二〇〇五年十月に「物忘れ外来」を開設いたしました。

アルツハイマー病の早期診断には、各種検査や診察から総合的に判断する必要があります。国際医療福祉病院は幸運にも、リハビリ部門のスタッフが充実しているため、神経心理学的検査を認知症疑いの方全員に行うことができます。また神経画像検査については、最新のSPECT解析方法をいち早く導入し、極早期アルツハイマー病でみられる後部帯状回領域の血流低下を検出できるようになりました。

こうした最新の診断ツール、神経心理学的検査結果等を総合的に判断することにより、認知症の早期診断がかなり正確にできるようになりました。今後は地域医療における病診連携も深め、物忘れ外来を通して地域住民の精神健康に尽力することが出来ればと考えております。

物忘れ外来では、神経内科外来担当医が、毎日初診受付しております。

(国際医療福祉病院 神経内科科副部長 橋本律夫)

臨床医学研究センター(東京地区)

山王病院

ご挨拶

山王病院 院長

(日本哺乳動物卵子学会理事長) 井上正人

山王病院(七十五床、全個室)が新築移転して六年、お陰様で重大な医療事故もなく、順調に発展してまいりました。少子化の進む中、分娩数は年々増加し、二〇〇五年は五九七件を達成しました。

ちなみに山王病院は、ブランド産院御三家の一つに数えられています。予防医学センターの評判も高く、会員制の山王メディカルクラブの会員数は当初の定員を大幅に上まわり、五五〇名となりました。

リプロダクションセンターは年中無休の体制で、年間二〇〇〇件の体外受精、五〇〇件の腹腔鏡検査・手術を行っています。

病院全体の評価としては、米山公啓氏(医師・作家)が「大病院の通信簿」で当病院に八十五点の最高点をつけ、「ほかの医療関係者、特に大病院の関係者に見てもらいたい病院」とコメントしています。また、東京大学医学部の新聞「鉄門だより」の紙上でも、「山王病院はとかく上流階級の間人が行くブランド病院と見られがちだが、特筆すべきはそのサービス精神の徹底にある。山王病院の成功は、患者の望む医療の一面を我々に教えてくれる」と、高く評価されました。しかしながら、医療サービスには限界

「口腔インプラントセンター」のご案内

山王病院の三階にインプラント(人工歯)センターがあります。

これまで、歯が失われた際の治療方法として、取り外しを要する「義歯(入れ歯)」や健康な歯を削って行う「ブリッジ」といった方法が用いられてきました。これらの治療法では、美観や食事の問題だけでなく、周囲の歯にダメージを与えてしまうことも少なくありません。

当センターでは、歯を失った場合の治療法として、インプラントを第一選択と考えており、最新のX線CT装置を用いて、インプラント治療に必須である顎骨の骨量および骨質を精査し、患者様ひとりひとりに合った診断・治療法を立案いたします。また、開業されている先生方からのX線CT検査依頼や画像診断依頼も順次受け付けています。

近年、患者様の医療に対する知識が向上し、主治医以外の医師に対して治療法などについて意見を求める「セカンドオピニオン」への要望が高まっております。当センターでは、抜歯の必要性やインプラントの手術方法など、歯科領域についてのセカンドオピニオンも受け付けています。

山王病院では、インプラントの専門医が、失われた歯と患者様の笑顔をとり戻せるよう日々努力しています。歯を失ってご悩みの方は、どうぞお気軽にご相談ください。

(山王病院・インプラントセンター)

高木病院 外来診療体制表 平成18年1月5日現在. 本館一階, 本館二階, 新館二階, 新館三階. Includes tables for various departments like Internal Medicine, Pediatrics, etc., with columns for doctor names and availability.

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカパーフェクTV! 774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

■ 番組のおすすめ

竹内孝仁道場 大丈夫なのか介護予防?

介護保険平成18年度改正

竹内孝仁教授をメイン講師に迎え、現職の市町村福祉担当者や福祉関係者を招き議論するほか、地域における介護予防の具体的な取り組みなども紹介。「介護予防」に携わることになる全ての人に対し、その具体化に向けた方策の提示を試みます。



竹内孝仁教授 (国際医療福祉大学大学院)

回	タイトル
1	介護予防の基本戦略
2	介護予防の基本戦略
3	介護保険平成18年度改正座談会 世田谷区の福祉関係者へ聞く
4	介護保険平成18年度改正座談会 世田谷区の福祉関係者へ聞く
5	介護保険平成18年度改正座談会 世田谷区の福祉関係者へ聞く
6	閉じこもり予防 富山市の介護予防への取り組みから
7	閉じこもり予防 川崎市の市民ボランティアの取り組みから
8	閉じこもり予防 番外編 富山市での講演から(前)
9	閉じこもり予防 番外編 富山市での講演から(後)
10	口腔ケア 現役歯科医へ聞く
11	閉じこもり予防 世田谷区の市民ボランティアの取り組みから
12	運動器の機能向上 パワーリハビリ

病院は安全か - 看護2:1の現実 -

2005 医療安全推進週間シンポジウム(平成17年11月16日)

黒岩祐治氏(国際医療福祉大学客員教授)がコーディネーターを務めたシンポジウム。医療費抑制の流れの中で、増員という理論が通じるのか。増員することだけで安全になるのか。ミスを起こさない人材の育成はどうすべきなのか、といった話題が議論されました。



シンポジウムの模様(六本木アカデミーヒルズ49)

毎年ご好評いただいている
実技対策ビデオ



介護福祉士国家試験の難所、実技試験合格のために知っておかなければならない知識と技術を凝縮して収めた2巻セット! 過去の出題傾向を徹底分析、映像による完璧な「模擬実技」により全ての動作を明確に指導した受験生必見の逸品。

ご注文・お問い合わせは、
医療福祉チャンネル お客さま係まで
TEL 0120-870-774

「介護福祉士国家試験実技試験対策」全2巻セット

価格 10,500円(税・送料込み)

監修・実技指導: 式恵美子助教授(国際医療福祉大学医療福祉学科)

● 医療福祉チャンネル774を見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカパーフェクTV!の774チャンネルでご視聴いただけます。ご視聴には、スカパーフェクTV!専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!

- 視聴料・・・月額2,100円(このほかに、スカパーフェクTV!加入料・・・2,940円(初回のみ)スカパーフェクTV!月額基本料・・・410円がかかります。)
- 法人契約・・・5,250円
- IUHW学生、マロニエ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問い合わせ下さい。

● 視聴に関するお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-870-774(お客さま係) Eメール info@iryofukushi.com ホームページ www.iryofukushi.com

デザイン: アイ・デプト
編集: 東京事務所出版広報室

広報誌 IUHW 64号
 発行: 学校法人 国際医療福祉大学
 (大田原本校) 広報委員会
 栃木県大田原市北金丸一六〇〇一
 電話 〇二八七 二四 三〇〇〇
 (大川キャンパス)
 福岡県大川市榎津二二七
 電話 〇九四四 八九 二〇〇〇
 (東京事務所) 出版広報室
 東京都港区南青山一 一四一
 電話 〇三 五七七五 二五〇五

JR 高速バス「もみじ号」、大学発運行開始
 IUHW Note
 ~ 東京発、西那須野経由、終点国際医療福祉大学 ~
 2005年12月20日、東京-那須・塩原間を結ぶJR高速バス「もみじ号」が、待望の延長を実現し、国際医療福祉大学に開通しました。東京まで3時間、料金も新宿・東京-大学間が大人片道2,700円(学割2,160円)と割安です。座席指定制のため必ず座れ、トイレ付きなのも魅力。大田原市内の停留所は他に、保健センター前、大田原東武前、那須野が原ハーモニーホールと、学生に利用しやすくなっています。(本校総務課)

● 運行時刻
 上り 大学発 AM6:00 - 王子駅着 9:00 - 池袋三越前 9:10 - 新宿駅 9:40
 下り 新宿駅発 18:30 - 東京駅発 19:10 - 大学着 22:09

● 予約
 JRバス関東 西那須野支店 0287-36-0109 (9:00 ~ 17:00)
 高速バス電話予約センター 03-3275-0489 (10:00 ~ 20:00)